

ま え が き

エネルギーや資源の大量消費に支えられたこれまでの社会経済活動は、地球規模の環境問題を引き起こしてきました。中でも地球温暖化や資源の枯渇、生物多様性の減退等は、自然の生態系に大きな影響を及ぼすだけでなく、人類の生存基盤を脅かす深刻な問題であり、早急な対策が求められています。

本県は、温暖な気候のもと、豊かな森林や水資源、多様な動植物など豊かな自然環境に恵まれておりますが、このような環境を次世代へ引き継いでいくためには、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、微小粒子状物質への対応、生活排水対策、森林の整備等に取り組んでいく必要があります。

このため、県では、平成23年3月に本県の環境行政の基本計画である「宮崎県環境計画」を策定し、「新しい『太陽と緑の国みやざき』の実現」という基本目標の下、本県の自然環境を守り、活用することで、持続可能な社会を実現する方向性を示したところです。

県としましては、この目標を達成するために様々な環境保全施策を推進することとしておりますが、県民一人ひとりのライフスタイルや社会経済システムそのものを環境に配慮したものに転換することも求められています。

この白書は、平成25年度の本県における環境の状況と環境の保全に関して講じた施策の概要をまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組がさらに進むことを切に願っております。

平成26年12月

宮崎県知事 河野 俊嗣